



金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行責任者：般若陽子

編集責任者：般若慎一郎

金屋の町並みが、いよいよ国の重要伝統的建造物群に選定されることになりました。このことは町の誇りであり住民の喜びですが、決して目標に到達した訳ではありません。町の強みを活かし魅力と活力あるまちづくりを、時間をかけて継続的に行っていくスタート地点に立ったということです。ひ孫達の明るい未来の時代へとバトンを渡していけるよう、着実に進めていきたいものです。

金屋の町並みが

国の重伝建に選定へ



10月19日に文化審議会(昨年の金屋町開町400年記念フォーラムで講演していただいた宮田亮平さんが会長)が金屋町を国の重要伝統的建造物群に選定するように、田中真紀子文部科学大臣に答申しました。これで選定は決定的となり、翌日の地方新聞各紙は1面トップで大々的に報じました。ちなみに、金沢市寺町台・岐阜県郡上市郡上八幡北町・兵庫県篠山市福住の3地区も同時に答申され、全国の重伝建地区は102地区になります。10月29日には金屋町自治会の役員達が、富山県庁や高橋市長を訪ねてお礼の挨拶と今後共の協力要請を述べました。

金沢市寺町台を訪ねて

～まちづくり協議会の先進地視察研修

10月28日、まちづくり協議会が開催する恒例のまちづくり先進地視察研修会が行われ、金屋町住民29名がこのほど同時に国の重伝建に選定されることになった金沢市寺町台を訪問しました。寺町台視察は以前から予定していましたが、直前の10月19日に重伝建への同時選定が発表されたことから、急遽寺町台まちづくり協議会

との交流会を折り込みました。

寺町台の重伝建地区は22ヘクタールと広範囲(ちなみに金屋町は6.4ヘクタール)で、4校下、約30の自治会で構成され、13宗派の52寺院がある。それだけに住民意思とりまとめには苦労があったようです。寺院群の町に住みながら、住民が個々の寺のことを詳しくは知らないこともあり「進めよう歴史遺産を活かしたまちづくり」を合言葉に「寺町寺院群を巡る会」を平成20年から住民を対象に開催し、通算14回を数えているそうです。



金沢の語源は芋掘藤五郎から

伏見寺では内部も見学しましたが、この寺には諸仏の他に芋掘藤五郎夫婦の尊像が安置されています。藤五郎は山芋掘りで生計を立てていましたが、芋を湧水で洗うと砂金が出、その金で仏像を造り寺を建てたそうですが、その湧水は兼六園内にある金城霊沢と言われる場所であり「金洗いの沢」と呼ばれ、その名にちなんで前田利家が町の名前を「金沢」と改めたそうです。そんな話を知

っていませんか？

ふいご祭りが恒例に

11月8日、有磯正八幡宮においてふいご祭りが行われました。有磯正八幡宮には鋳物の神様である石こりどめの神を祀っていますが、その石こりどめの神が日本で初めて御神鏡を鋳造したという故事にならって、本殿で神事を行ったあと境内において鋳造式を行い、鏡と銅剣などを鋳造しました。



今年は西条小学校の5・6年生120名が見学を訪れ、真っ赤に溶けた鋳湯を型に注ぐ様子を見て歓声をあげていました。なおふいご祭りに先立って11月3日にはえびす講が開催され、銅器の小物販売やもち・みかん撒き、名工須賀松園の作品展示なども行われました。

スローライフ逸品フォーラム in 高岡

10月13～14日、主題のフォーラムが開催されました。スローライフとは「ゆっくり、ゆったり、ゆたかに」結果だけでなく過程を大切に生活しよう、という考え方です。

まちづくりとものづくりに会場を分けて分科会が開催されましたが、まちづくり分科会には金屋町まちづくり協議会を代表して、般若陽子さんがパネリストとして参加し事例発表しました。また県外からの参加者達が山町筋と金屋町のまちなみを見学し、夜には金屋町の宗泉寺で、交流会も行われました。14日にはウィングウィング高岡大ホールにおいて全体会が、市長や商工会議所会頭も参加して開催されました。スローライフの考



え方は、金屋町の今後のまちづくりの方向を考える際におおいに参考になると思いましたが、いかがでしょうか。

高岡市美術館で

盤若一郎の作品展を開催中

高岡市美術館の常設展示室で「新収蔵品2007-2011」が開催されていますが、併催として「盤若一郎～水彩デッサンと所蔵油彩画」が開催されています。内容は美術館蔵の油彩画2点と個人蔵の水彩画・墨書など30点余です。盤若一郎は旧金屋上町出身の画家で、明治43年から平成6年までを生きた人です。我が町出身芸術家の作品を見に行きませんか。

料金は一般210円、65歳以上160円、小中学生無料。来年3月10日までです。

神初良子さんに市民功労者表彰



金屋西町の神初良子さんが社会福祉の分野で、高岡市から市民功労者表彰を受けました。民生委員を永年務められ、地域の社会福祉に貢献したことが評価されたものです。おめでとうございます。

鋳物資料館が長期休館します

鋳物資料館が内部リフォーム工事を行うために、12月17日(月)から来年3月19日(火)まで休館する見込みです。工事内容などの詳細は、次号にてお伝えします。